

令和6年度 全国学力・学習状況調査
児童生徒質問調査の結果
【相模原市】

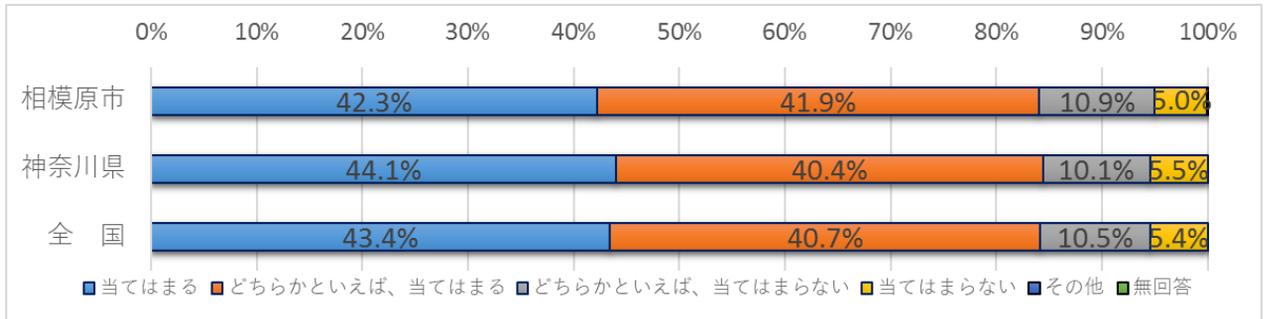


「キャリア教育」に関すること

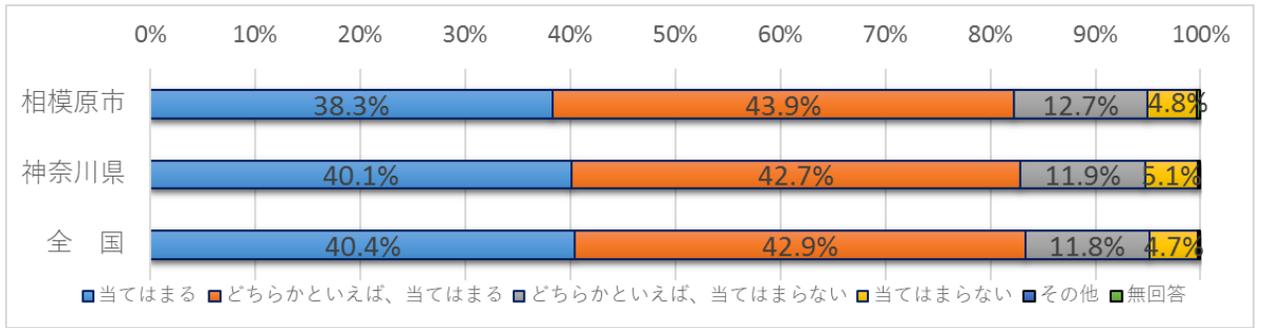
【質問】

自分には、よいところがあると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 84.2%



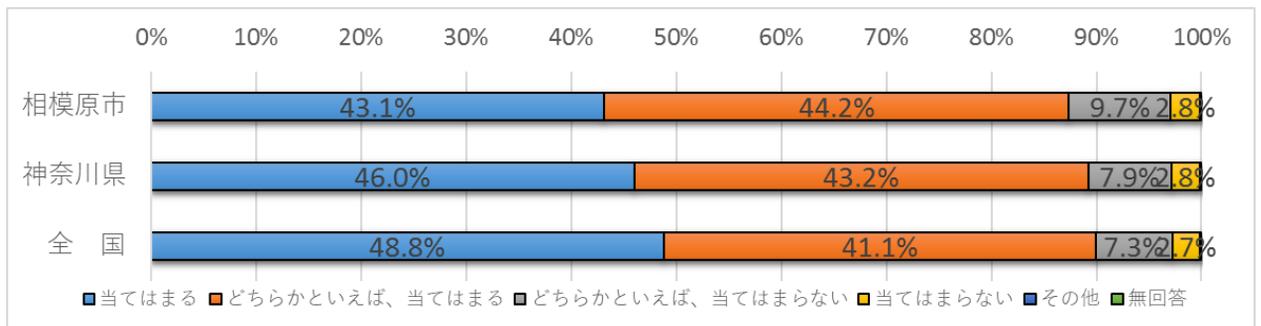
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 82.2%



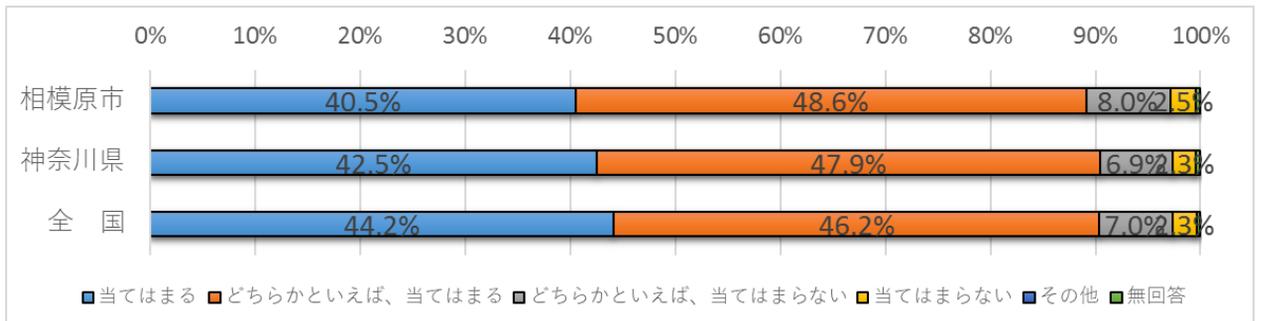
【質問】

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 87.3%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 89.1%

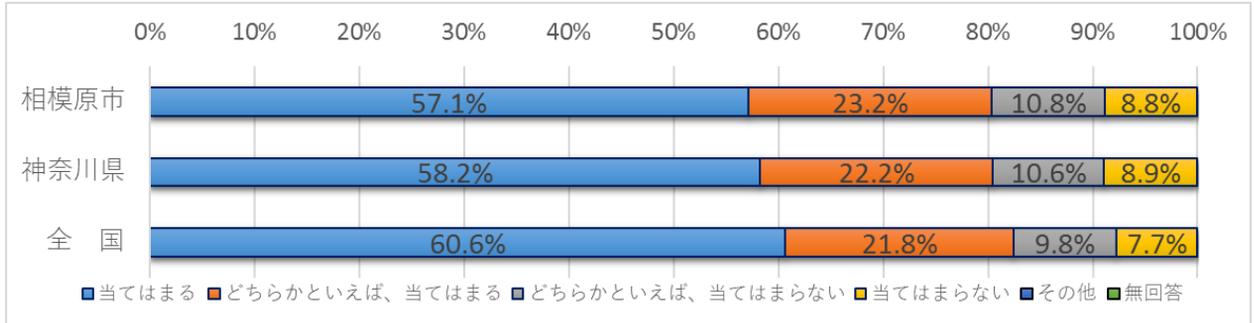


「キャリア教育」に関すること

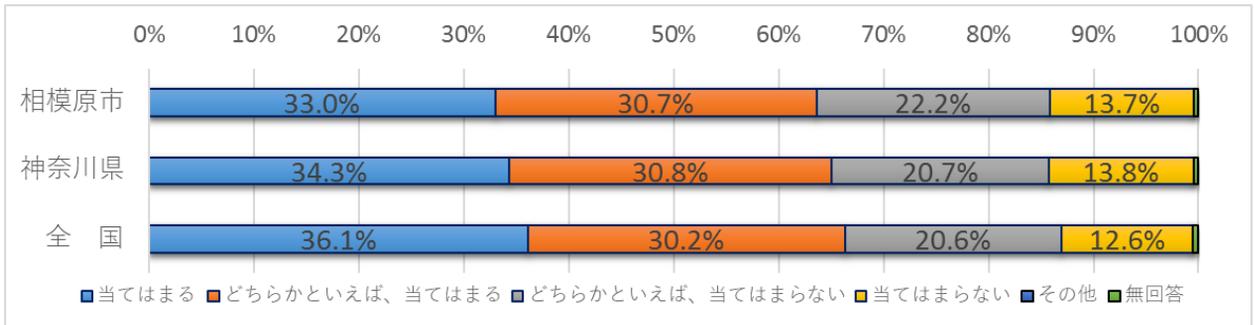
【質問】

将来の夢や目標を持っていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 80.3%



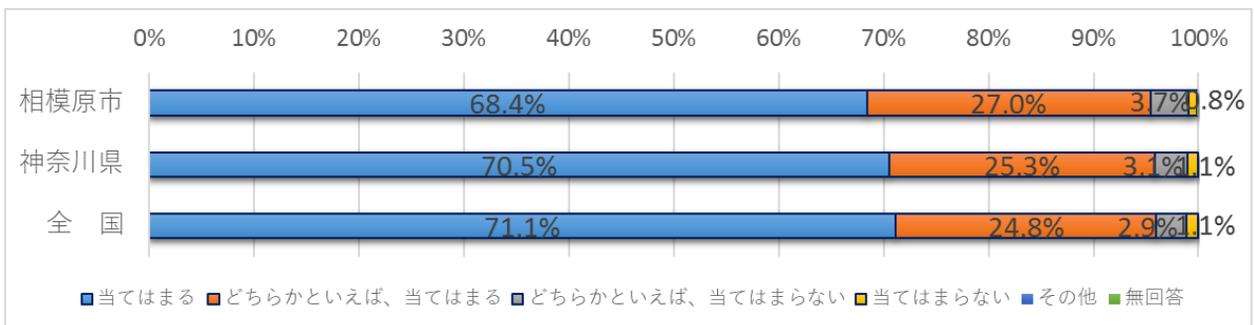
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 63.7%



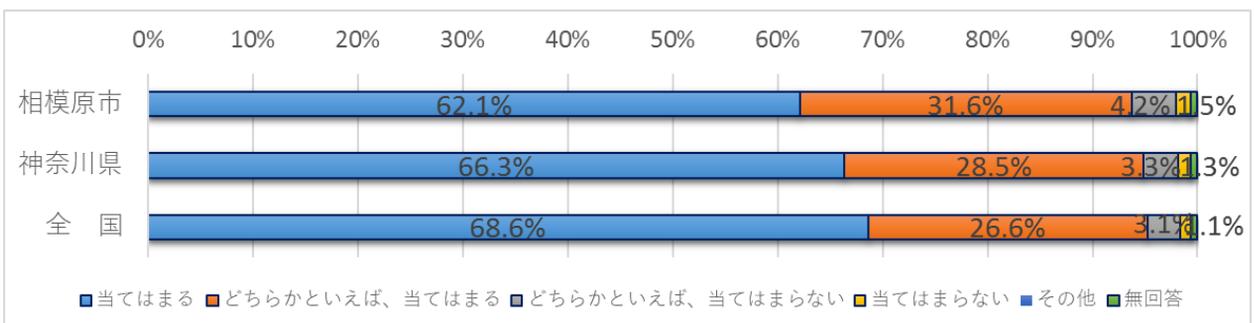
【質問】

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 95.4%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 93.7%

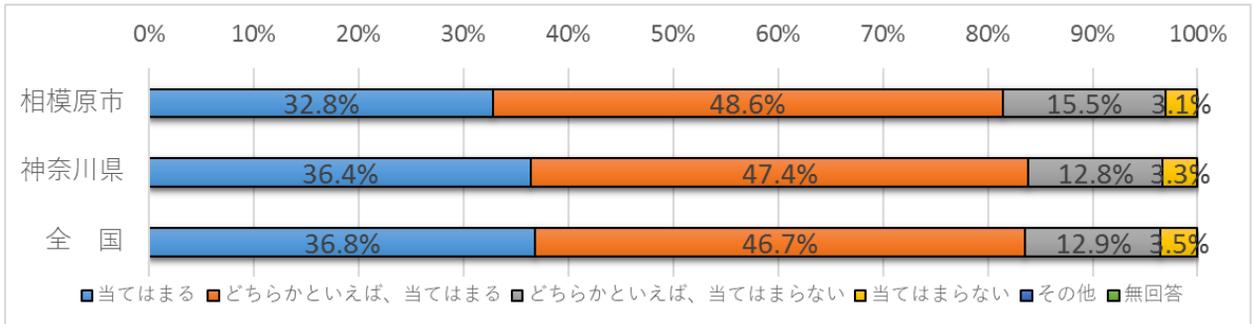


「キャリア教育」に関すること

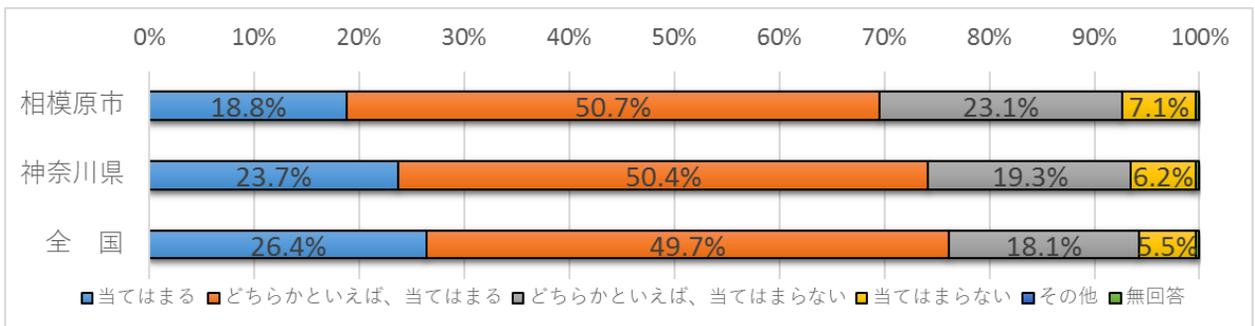
【質問】

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 81.4%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 69.5%



【「キャリア教育」に関わる回答結果より】

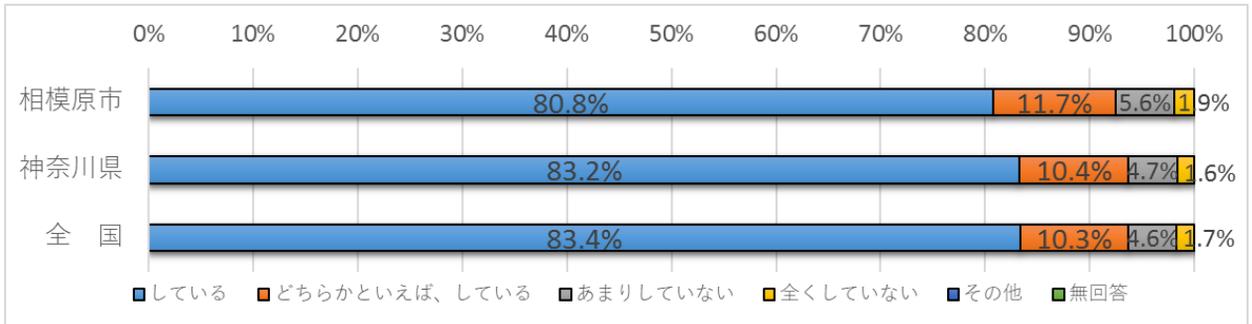
- 「自分には、よいところがあると思いますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、84.2%、中学生の割合は、82.2%となっており、高い割合を示しています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の質問に対し、肯定的に回答した児童生徒の割合は、90%程度と高くなっており、児童生徒の自己肯定感を高める一つの要因となっていると考えられます。
- 「将来の夢や目標を持っていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、80.3%、中学生の割合は、63.7%となっており、小学生に比べて中学生の方が低くなっています。これは、成長とともに社会の様子などを広く知ることにより、夢を実現することの難しさに気付くなど、自己理解が進むことなどが影響しているものと思われます。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、95.4%、中学生の割合は、93.7%と、非常に高い割合を示しています。未来の創り手となる小・中学生が、このような意識をもっていることに頼もしさを感じます。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、81.4%、中学生の割合は、69.5%となっています。相模原市では、コミュニティ・スクールの活動を推進しており、このような活動を通じて、地域に貢献しようとする態度の醸成を進めます。

「生活習慣」に関すること

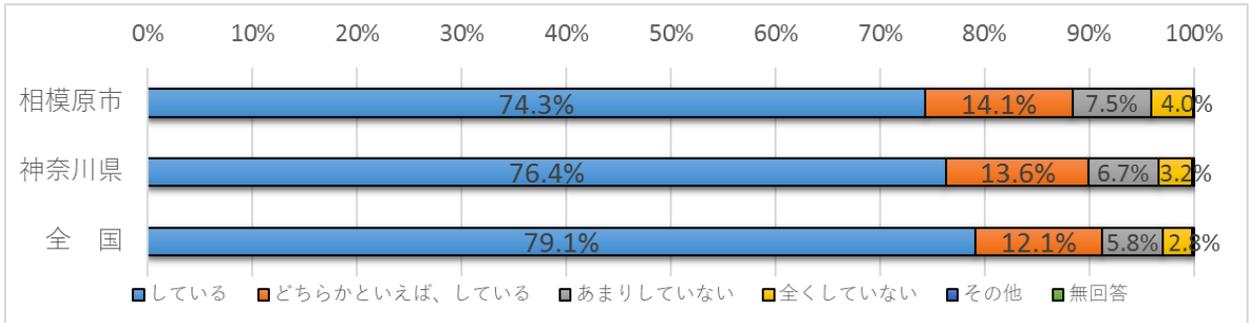
【質問】

朝食を毎日食べていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 92.5%



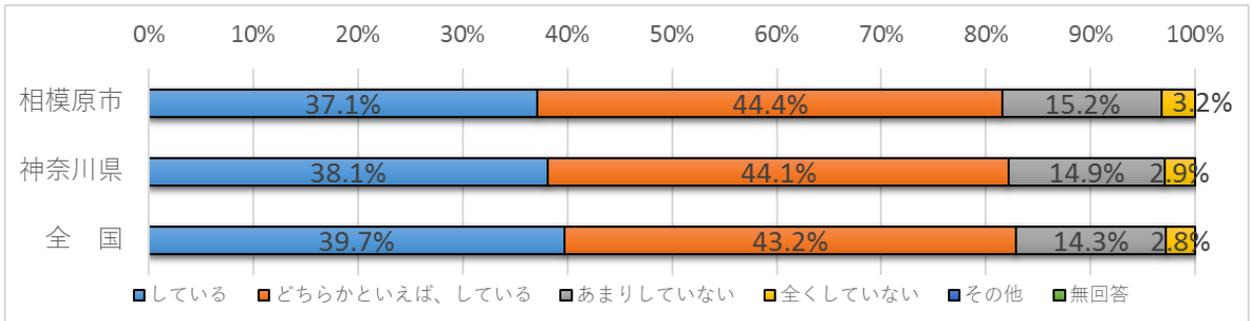
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 88.4%



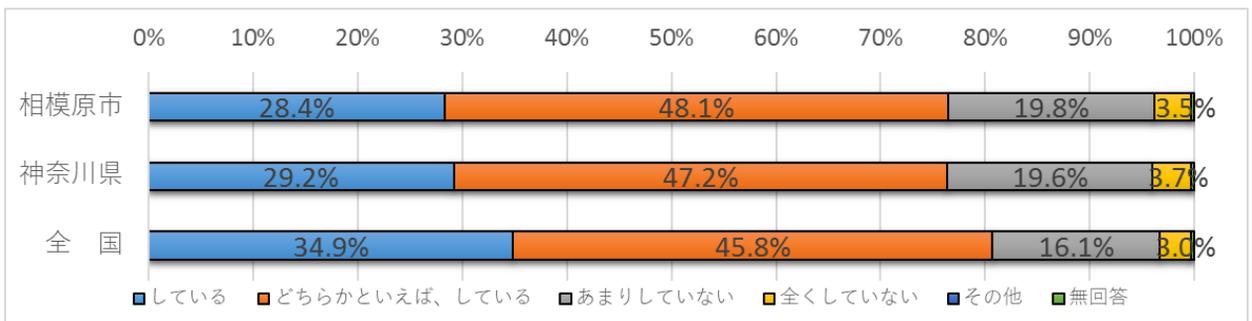
【質問】

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 81.5%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 76.5%

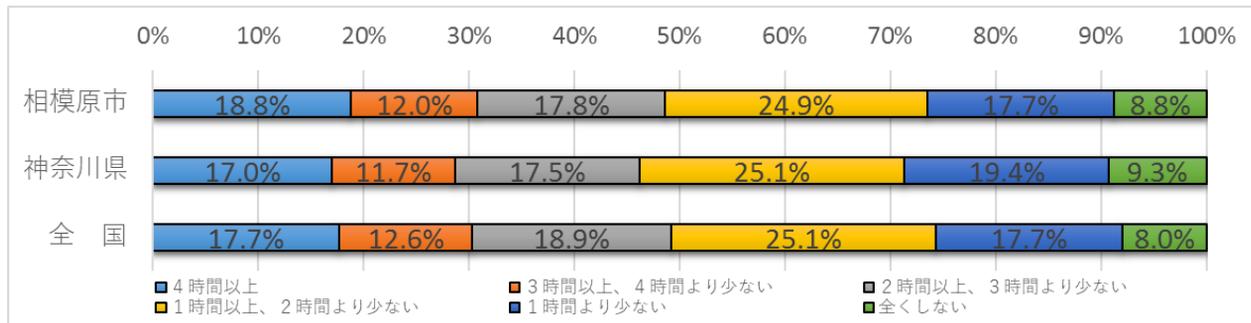


「生活習慣」に関すること

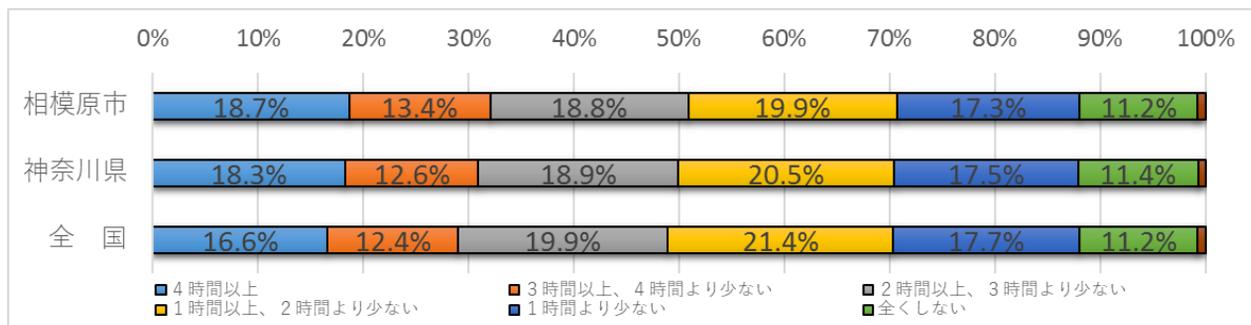
【質問】

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。
※コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む

〈児童〉 2時間以上と回答した児童の割合 48.6%



〈生徒〉 2時間以上と回答した生徒の割合 50.9%

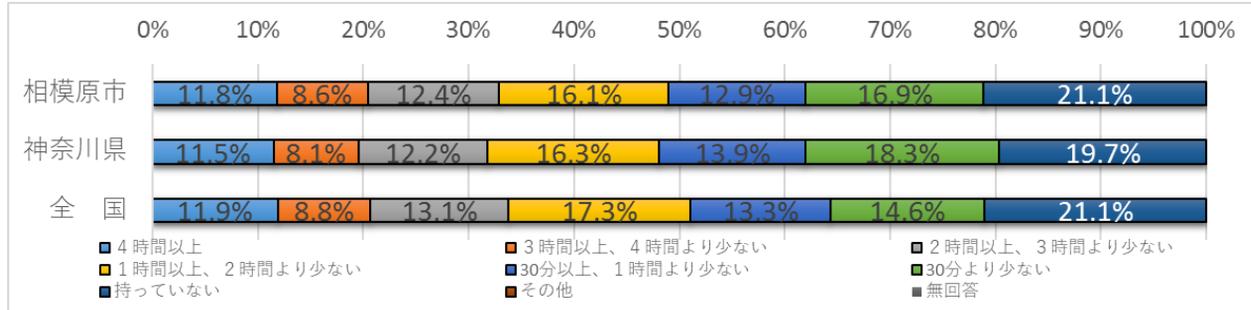


【質問】

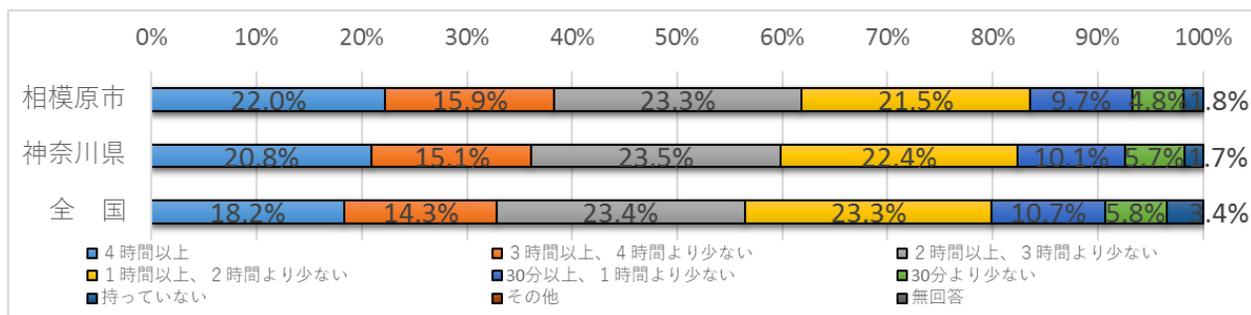
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。

※携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く

〈児童〉 2時間以上と回答した児童の割合 32.8%



〈生徒〉 2時間以上と回答した生徒の割合 61.2%

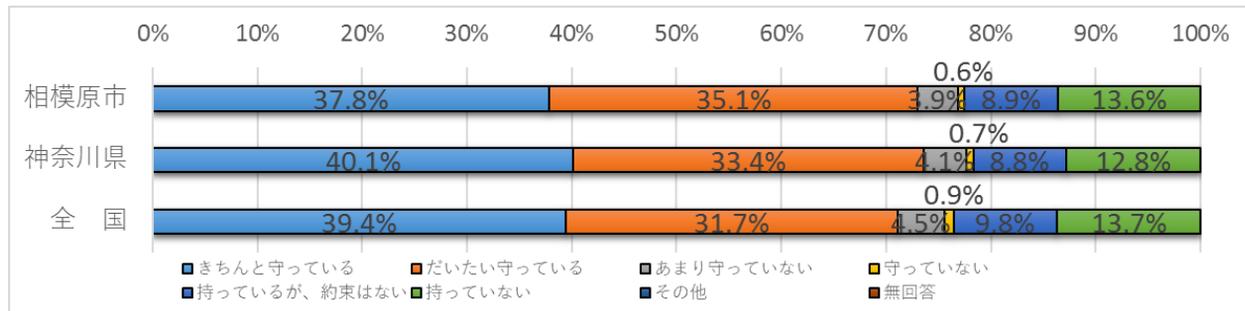


「生活習慣」に関すること

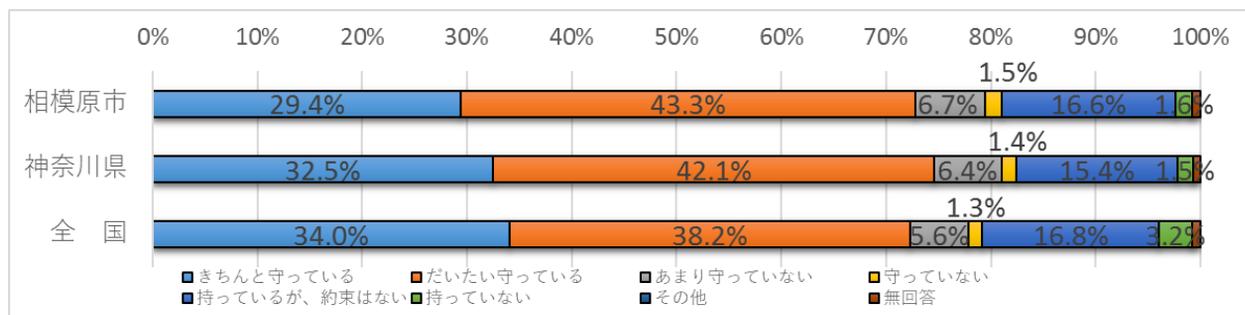
【質問】

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 72.9%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 72.7%



【「生活習慣」に関わる回答結果より】

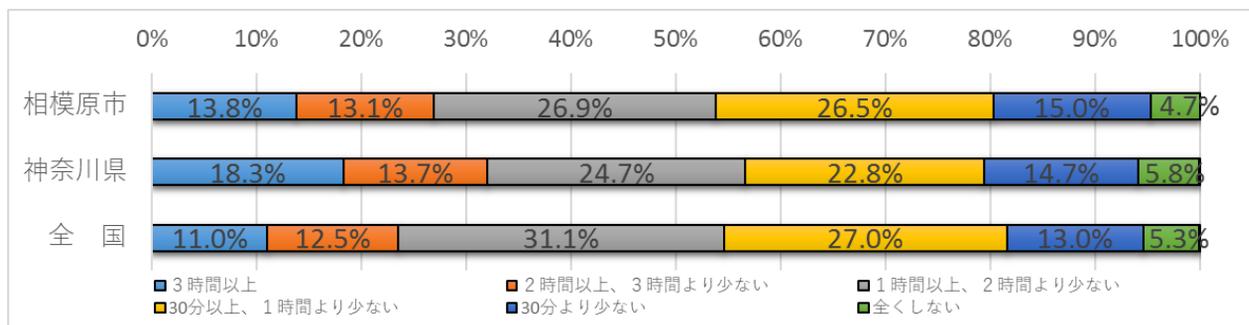
- 「朝食を毎日食べていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、92.5%、中学生の割合は、88.4%となっており、高い割合を示しています。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」に対して、小学生は81.5%が肯定的に回答しているものの、中学生の割合は、76.5%とやや低くなっています。睡眠時間が十分に確保できているかを確認する必要があります。
- 「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。」に対し、「2時間以上」と回答した小学生の割合は、48.6%、中学生の割合は、50.9%となっています。また、「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。」に対して、「2時間以上」と回答した小学生の割合は、32.8%、中学生の割合は、61.2%となっており、帰宅後の生活の多くをゲームや動画視聴にあてている児童生徒が、相当数いることがわかります。ゲームや動画視聴にかかる時間は、どれくらいが適切なのかを考えるなど、自身の生活を客観的に見つめ直す機会をもつことが大切です。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、72.9%、中学生の割合は、72.7%となっており、約7割の児童生徒が家の人との約束に基づいて使用していることがわかりました。設定した約束は、確認したり見直したりすることが大切です。

「学習習慣」に関すること

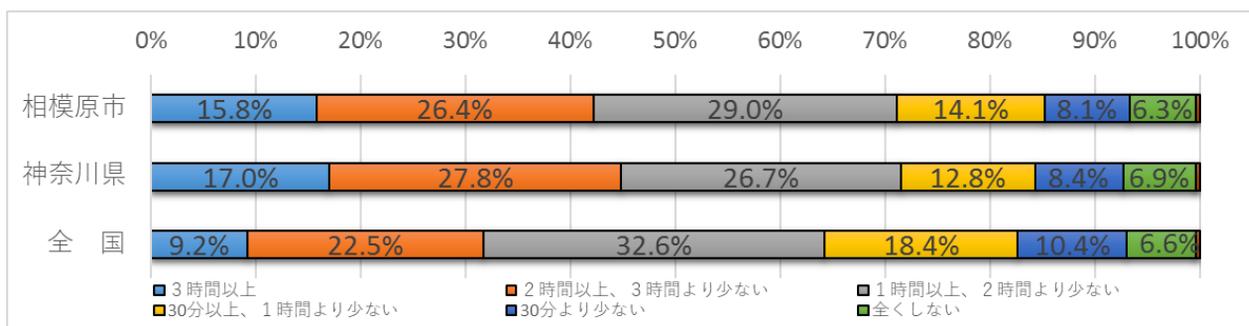
【質問】

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

〈児童〉 1時間以上と回答した児童の割合 53.8%



〈生徒〉 1時間以上と回答した児童の割合 71.2%

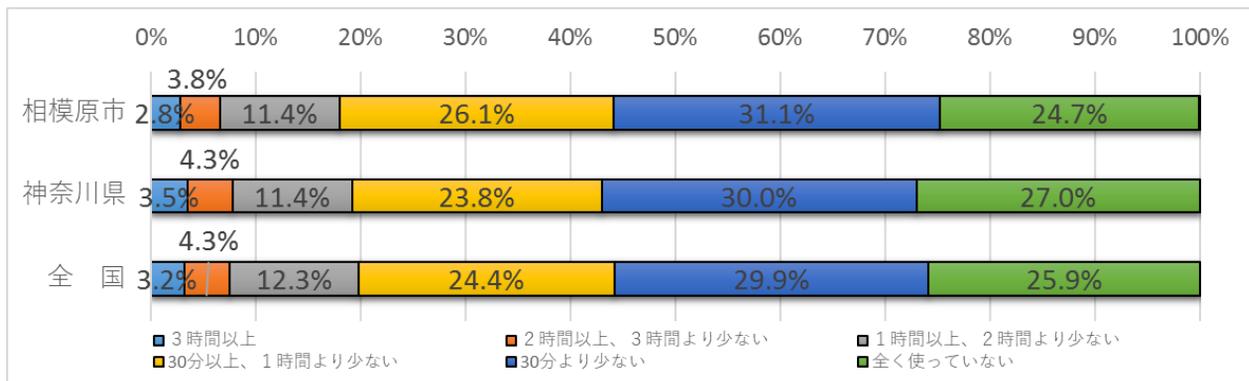


【質問】

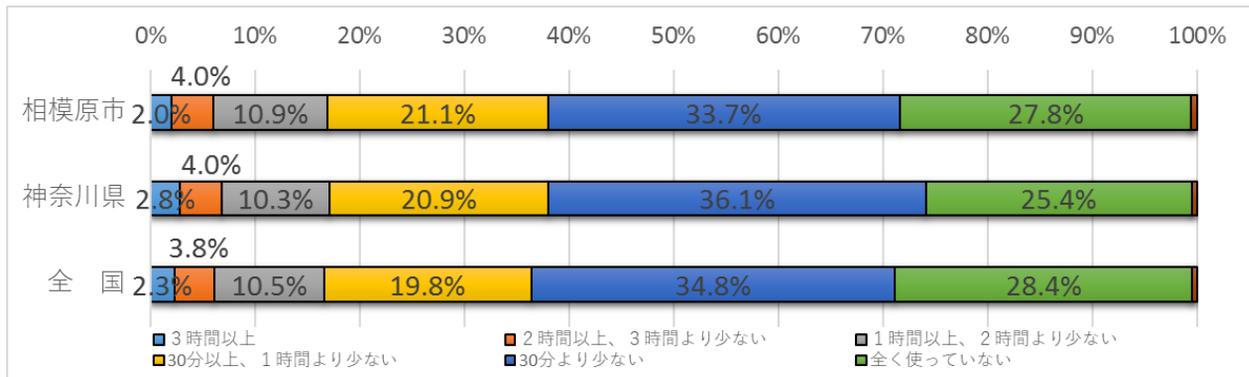
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

※遊びなどの目的に使う時間は除く

〈児童〉 1時間以上と回答した児童の割合 18.0%



〈生徒〉 1時間以上と回答した生徒の割合 16.9%

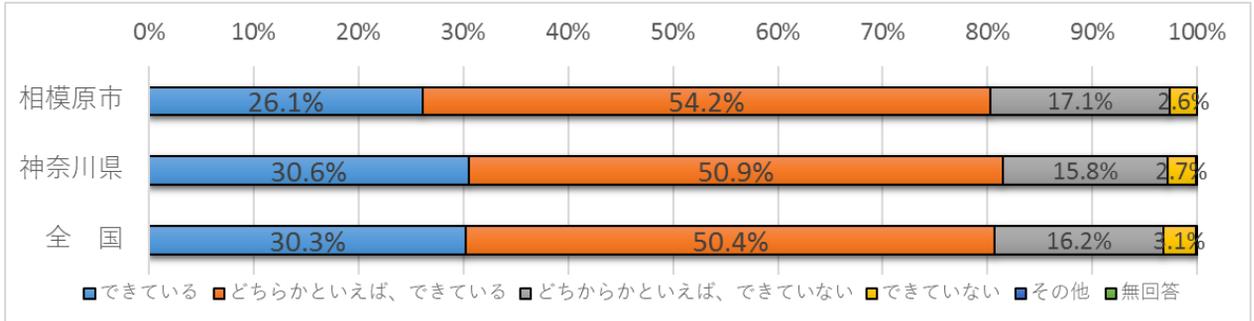


「学習習慣」に関すること

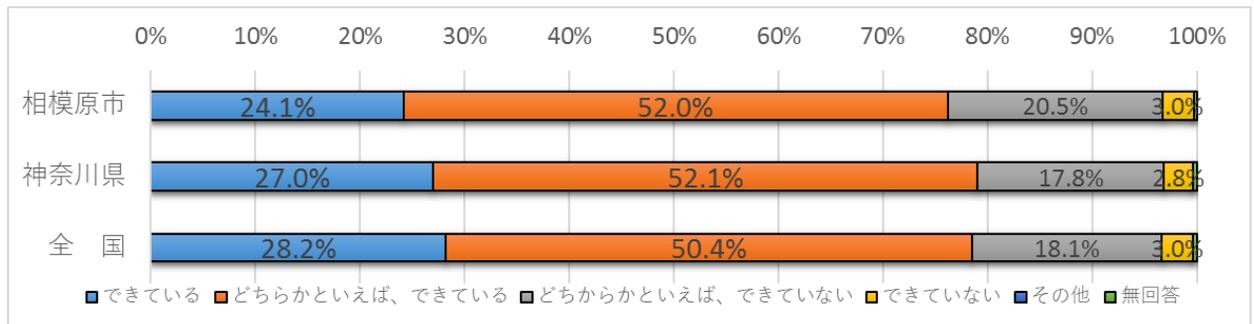
【質問】

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 80.3%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 76.1%



【「学習習慣」に関わる回答結果より】

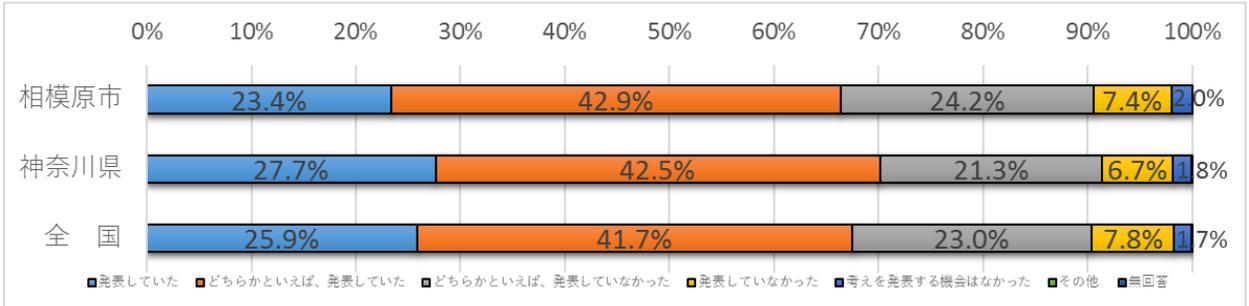
- 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」に対し、「1時間以上」と回答した小学生の割合は、53.8%、中学生の割合は、71.2%となりました。「確かな学力」を身に付けるためには、学校での学習に加え、家庭における学習が欠かせません。学校で学んだことを定着させるために、家庭学習の習慣を身に付けましょう。
- 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。」に対し、「1時間以上」と回答した小学生の割合は、18.0%、中学生の割合は、16.9%となりました。ICT機器を活用することで、調べ学習をしたり、自分に合った教材を選んで勉強したりすることが簡単にできるようになります。自分に合った学習方法を見つけ出し、継続して取り組むことが大切です。
- 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、80.3%、中学生の割合は、76.1%となりました。自分にあった学び方を自分自身で考えて学習を進めるなど、学習者として自律する力が求められています。与えられた課題を単にこなすのではなく、分からないことや詳しく知りたいことを出発点とした学習に取り組みましょう。

「授業への取組」 に関すること

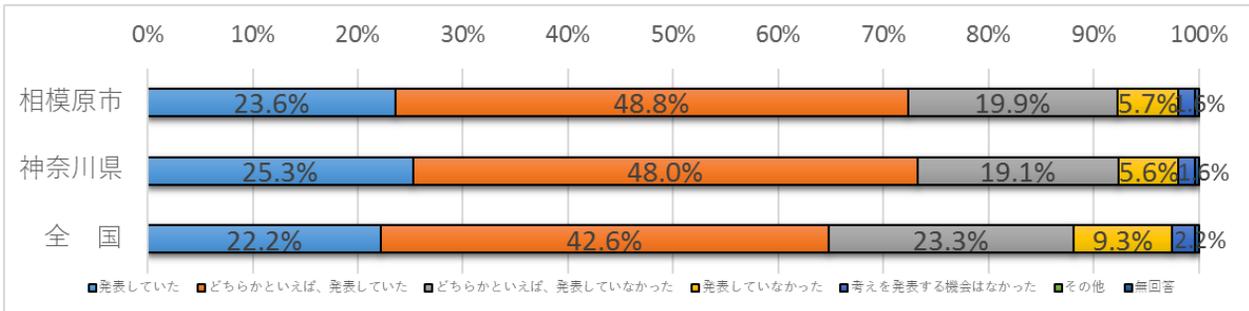
【質問】

授業で、自分の考えを公表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 66.3%



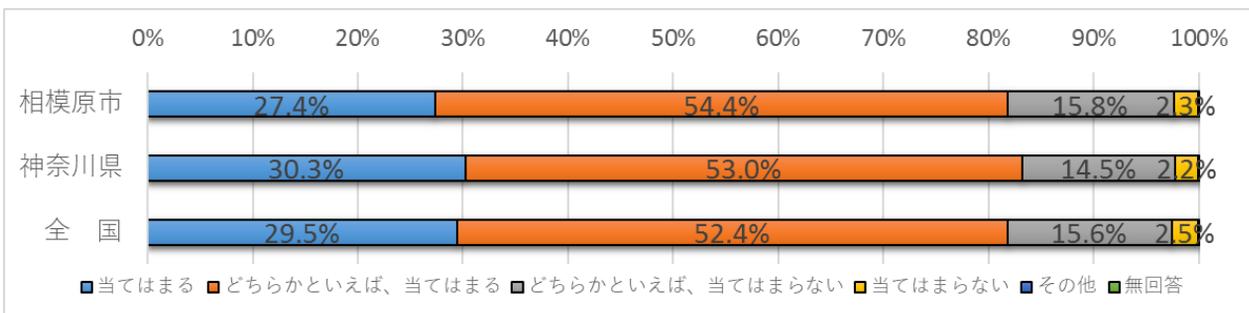
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 72.4%



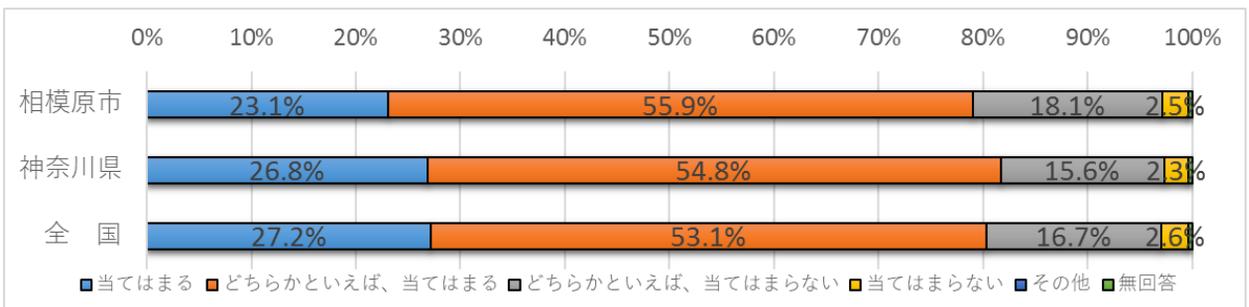
【質問】

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 81.8%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 79.0%

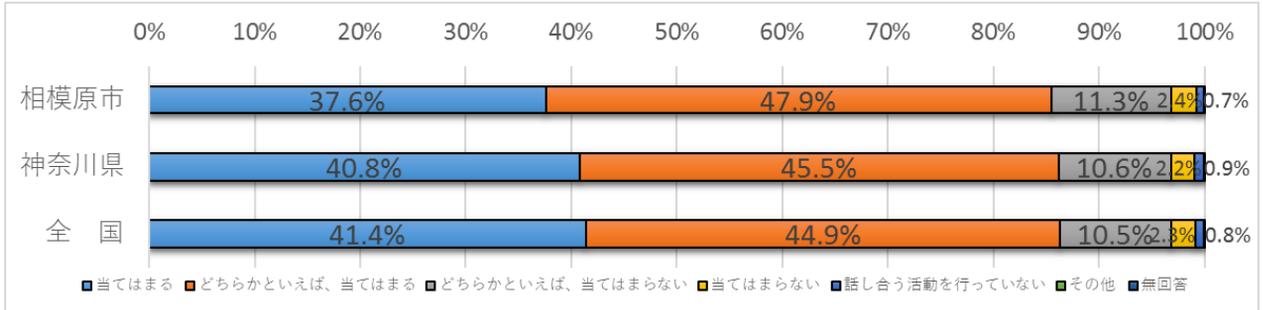


「授業への取組」に関すること

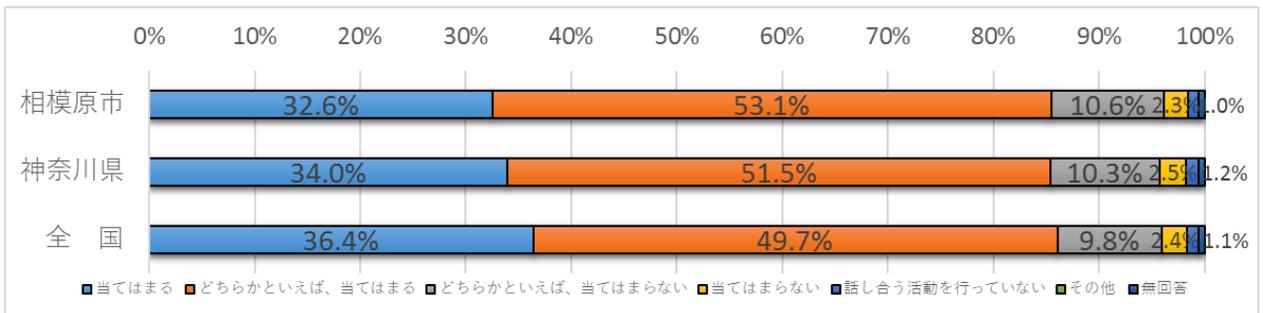
【質問】

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 85.5%



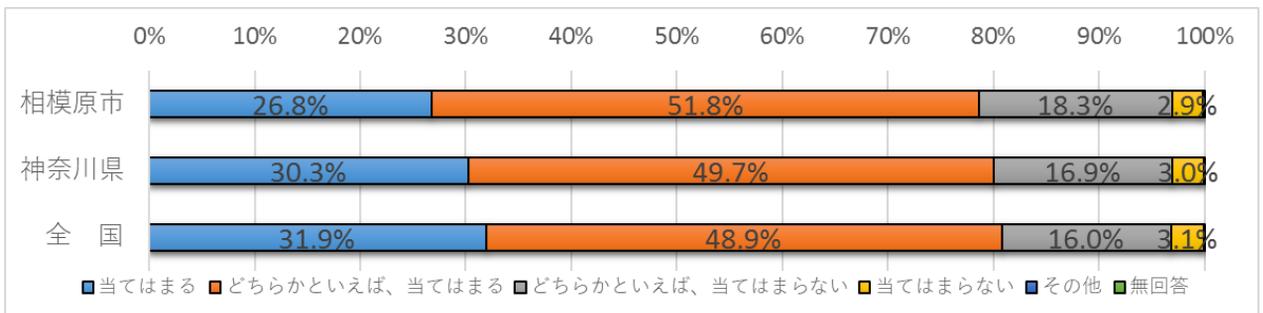
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 85.7%



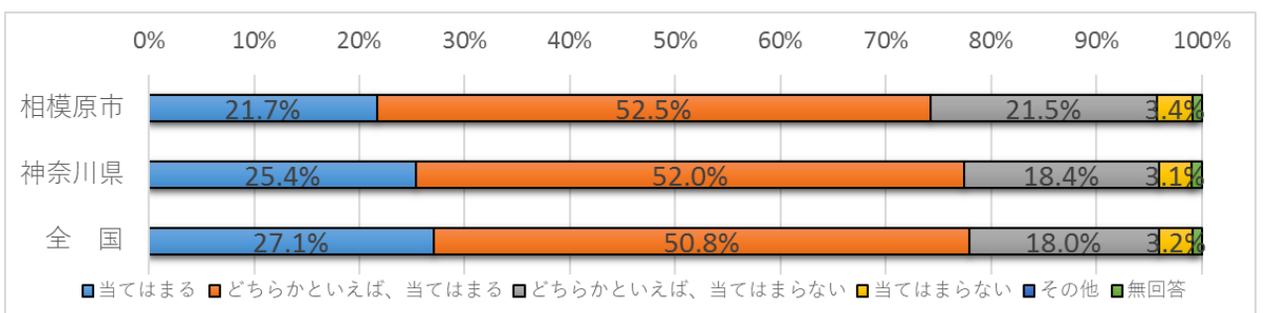
【質問】

学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 78.6%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 74.2%

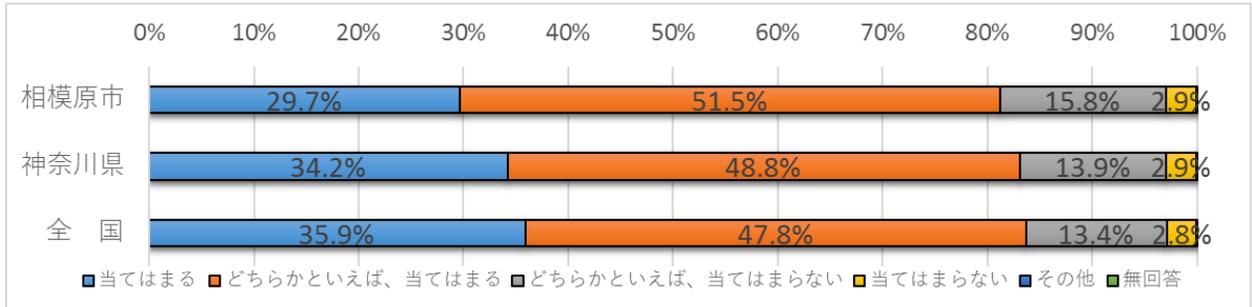


「授業への取組」 に関すること

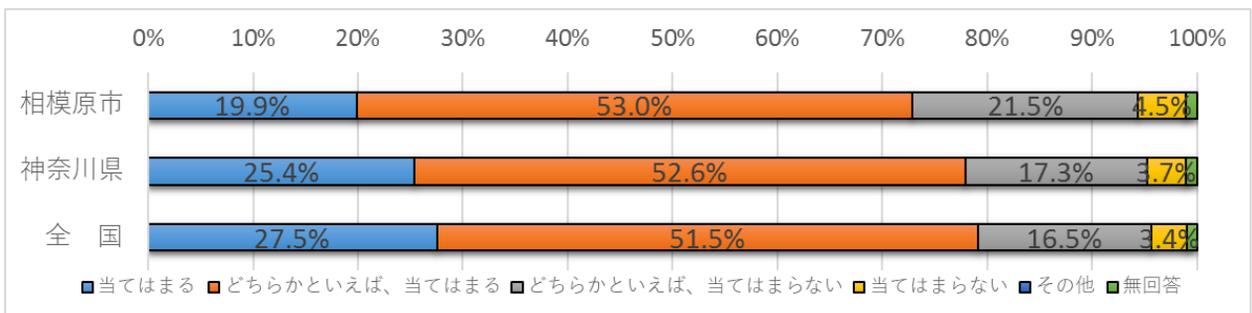
【質問】

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 81.2%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 72.9%



【「授業への取組」に関わる回答結果より】

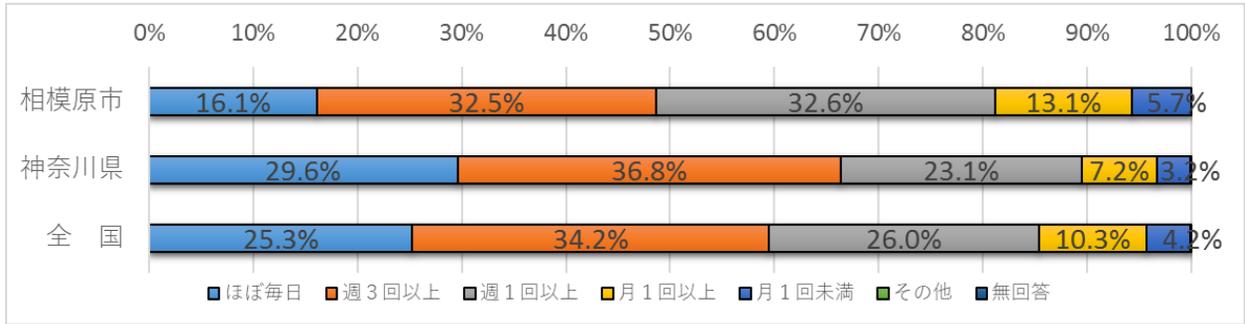
- 「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、66.3%、中学生の割合は、72.4%となりました。中学生においては、全国を7.6ポイント上回る結果となっており、アウトプット中心の授業が行われていることがわかります。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、85.5%、中学生の割合は、85.7%となりました。授業において、グループ活動や話し合い活動が積極的に取り入れられ、協働的な学びを通じて、深く学ぶことができていると実感している児童生徒が多いことがわかります。
- 「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか。」に肯定的に回答した小学生の割合は、66.3%、中学生の割合は、72.4%となっています。学んだことを次の学習や実生活を結びつけて考えることは、学びの必要性や有用性の理解につながります。相模原市では、キャリア教育を通じてこのような機会を積極的に設けていきます。

「ICTの活用」に関すること

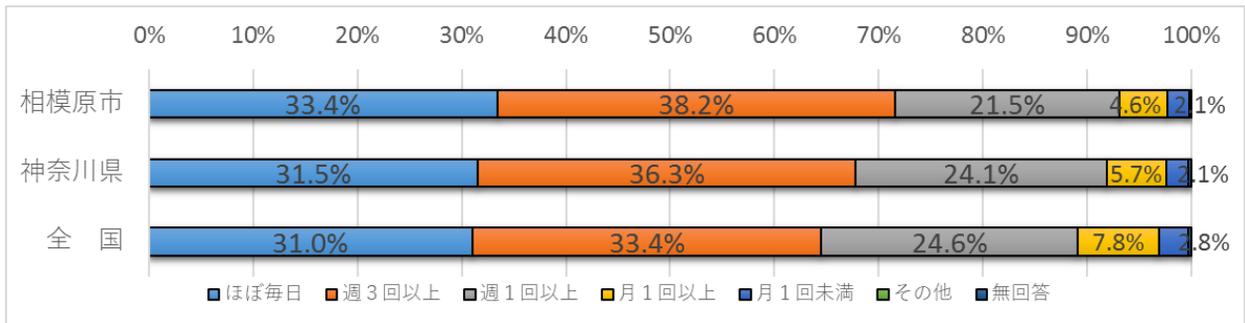
【質問】

これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

〈児童〉 週3回以上と回答した児童の割合 48.6%



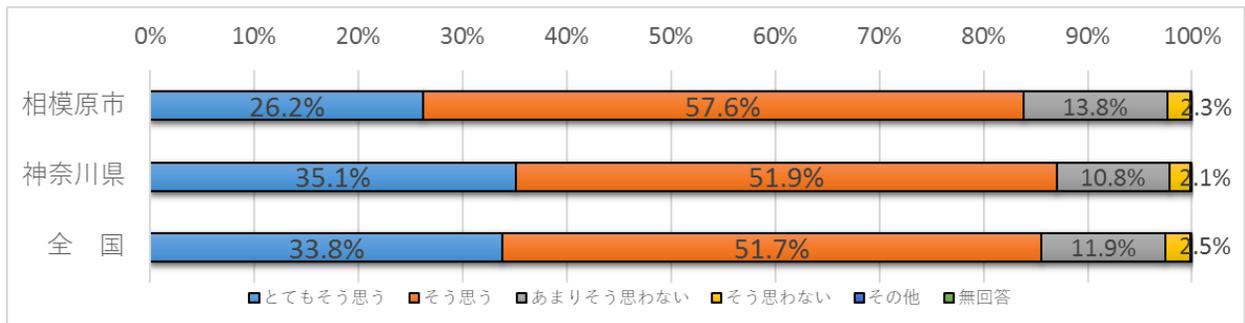
〈生徒〉 週3回以上と回答した生徒の割合 71.6%



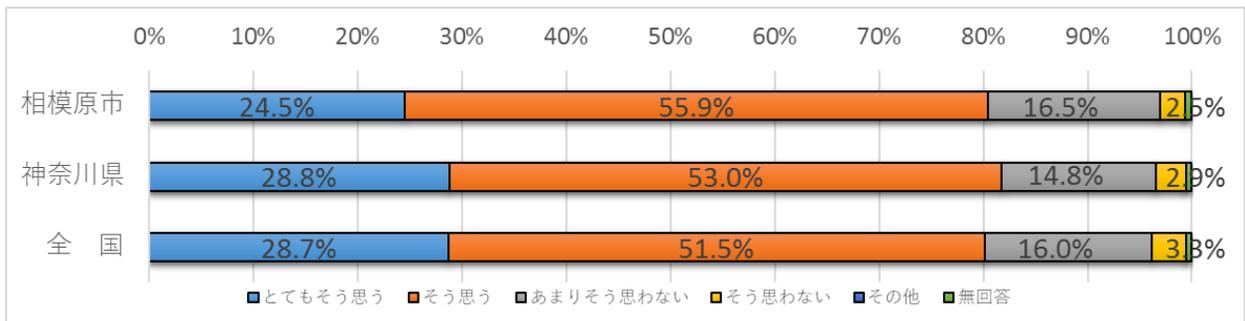
【質問】 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 83.8%



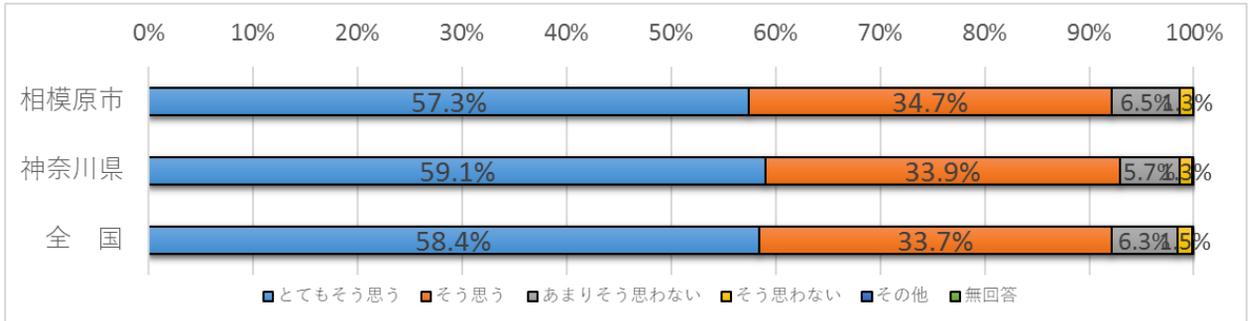
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 80.4%



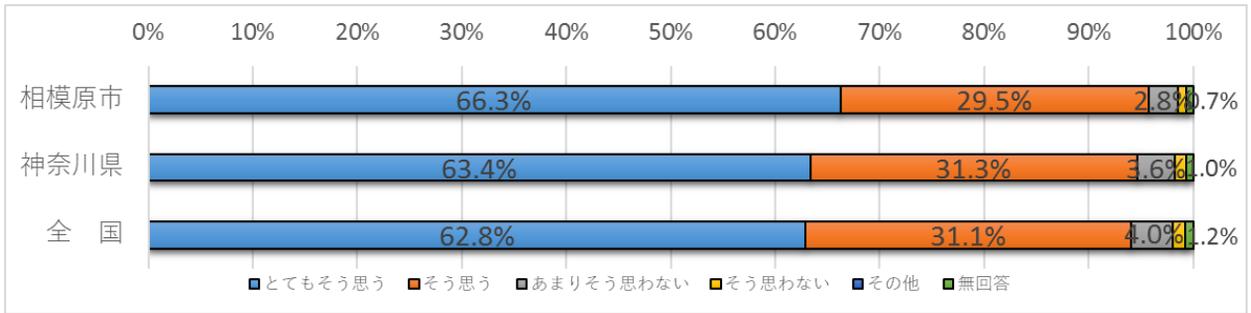
「ICTの活用」に関すること

【質問】 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 92.0%

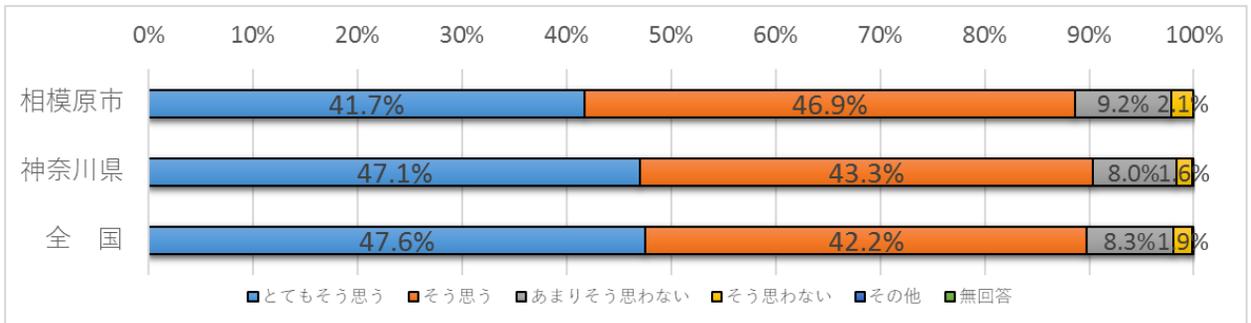


〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 95.8%

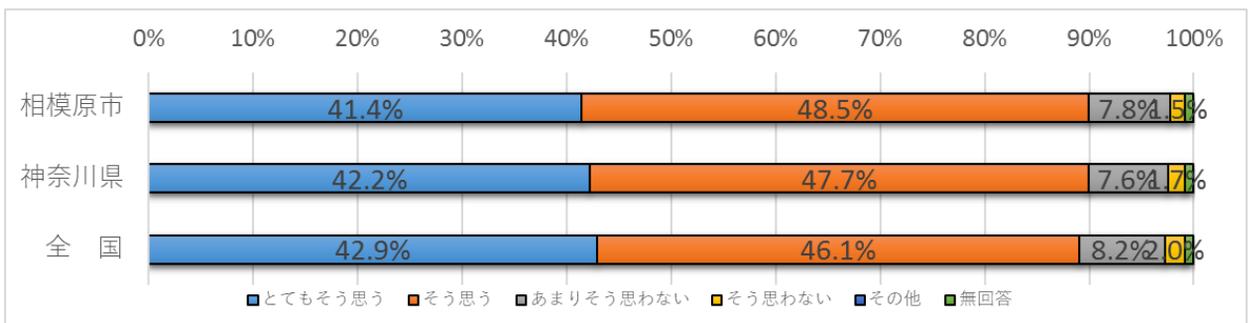


【質問】 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 88.6%



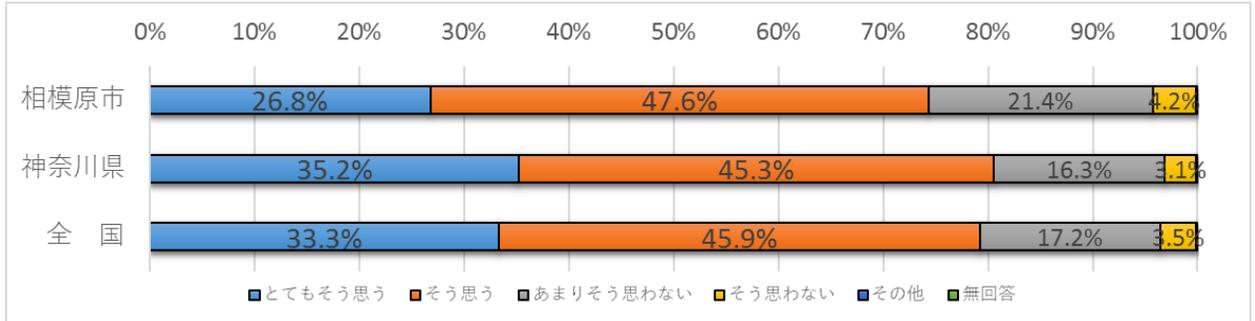
〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 89.9%



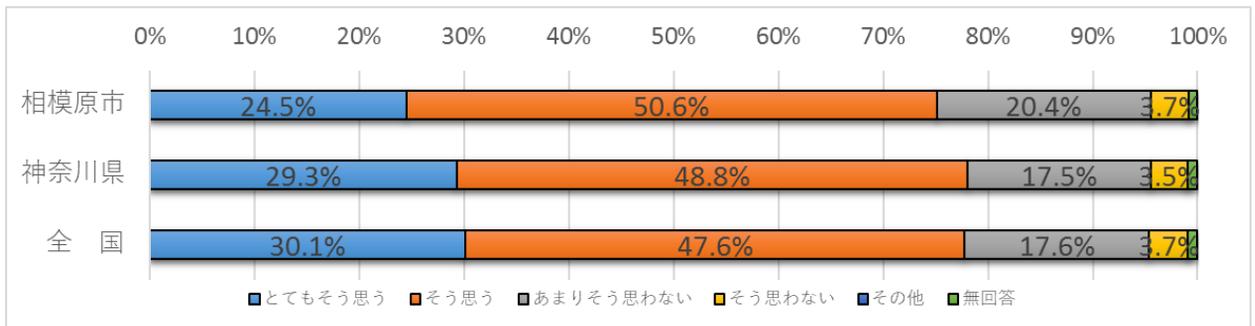
「ICTの活用」に関すること

【質問】 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。

〈児童〉 肯定的に回答した児童の割合 74.4%



〈生徒〉 肯定的に回答した生徒の割合 75.1%



【「ICTの活用」に関わる回答結果より】

- 「これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」に対し、「週3回以上」と回答した小学生の割合は、48.6%、中学生の割合は、71.6%となっており、全国と比べ中学校において、ICT機器の活用頻度が高い状況にあることがわかりました。小学校においては、児童の発達段階に考慮しつつ、ICTの積極的な活用を進めていきます。
- 「ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。」に肯定的に回答した小学生の割合は、92.0%、中学生の割合は、95.8%となっており、「ICTの活用」に関する質問の中で、肯定的な回答の割合が最も高くなっています。インターネットを利用し、知らないこと、わからないことを簡単に調べられることのメリットを感じている児童生徒が多いことがわかります。
- 「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。」に肯定的に回答した小学生の割合は、88.6%、中学生の割合は、89.9%となっています。教科書や資料集など、紙媒体だけでは理解できなかったことも、動画の視聴などにより理解できることがあります。ICT機器の強みを生かした学習を進められるようにしましょう。